

ふれあい

平成20年 5月 第266号
大代地区コミュニティ推進協議会
事務局：大代地区公民館
☎364-8442

〈掲載目次〉

●中区事業報告計画について・・・1	●ある教授との出会い・・・3
●貞山運河周辺清掃のお知らせ・・・1	●不平や不満は・・・4
●多賀城市消防団第六分団だより・・・2	●ふれあい俳句・・・4
●住宅用火災警報器について・・・2	●ふれあい短歌・・・4
●大代第一百寿会総会に参加して・・・2	●職員の交代について・・・4
●大代の歩み(三)・・・3	●講座の追加募集について・・・4

中区事業報告計画について 大代中区町内会

保健衛生推進委員 渡邊 桂子
会長 小野 菊郎

十九年度最後の事業となったとうふつくりを、三月二十五日(火)参加者十四名で開催致しました。大豆二・二五kgから、とうふ六kg、おから六kgが出来ました。これを食材にしてシャキシャキおからハンバーグ、オニオンスープ、さしみとうふを作り昼食パーティーで頂きました。作りたての食材でつくる料理ですからおいしかったです。



十九年度町内会主催の事業参加者は、十事業、延べ四百五十名でした。子どもとその保護者及び男性との交流を盛んにしたいと考えておりましたが、充分ではありませんでした。

来年度の課題であり、企画する事業について、なお一層の工夫をしたいと考えております。

二十年度では、社会教育振興員、スポーツ振興員、地域環境推進員、保健衛生推進員を担当者として、十九年度同様各事業を計画し、四月二十日総会の承認を受けて推進して参ります。

貞山運河周辺清掃のお知らせ

大代地区コミュニティ環境美化部

日時/五月十一日(日)

午前六時から(一時間程度)

集合場所/大代地区公民館

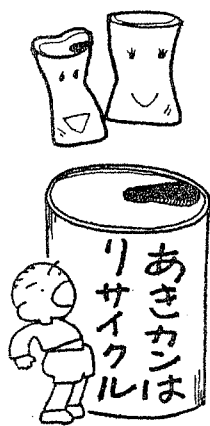
雨天の場合は中止(小雨決行)

手袋を持参して下さい。

ゴミ拾い用のゴミ袋として、レジ袋を

一人三枚持参の上参加願います。

大代地区の皆様のご協力をお願いします。



多賀城市消防団第六分団だより

第六分団長 伊藤 勲

新緑が目眩しい爽やかな季節になり、大代地域の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

日頃の消防団活動に対し、ご理解とご指導を賜り誠にありがとうございます。

二十年度も四月十一日、正副分団長会議により今年度の活動事業計画も決定し、六分団員十九名も一致団結、定期訓練、災害活動等、地域の安全安心確保のため、諸団体と連携のもと努めてまいりたいと思っております。

主な訓練内容としては、四月二十九日消防署員による出前講習勉強会を始め、五月二十九日より幹部、新団員規律訓練等を八幡小学校校庭にて午後七時より午後九時まで行い、六月二日からはポンプ操法訓練、六月十二日「県民防災の日」の通信訓練、六月十五日多賀城市消防団演習、七月二十六日実放水訓練が共に八幡小学校校庭にて開催、八月二十四日二市三町連合演習が七ヶ浜第一スポーツ広場にて開催、当分団も出動いたします。十一月九日から十五日までは秋の火災予防運動広報、十一月には防火指導の巡回、二十一年一月四日、多賀城市消防団出初式が市役所前にて挙行、三月一日から七

日まで春の火災予防運動広報を予定いたしております。今年度も地域の安全、安心のため訓練に励み団員一同活動してまいりますので、皆様方からの御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

濱口梧陵（江戸時代、和歌山県人）の言葉
「万が一の時にあって、思いを巡らすのでは無く、常日頃からの非常の事態に備え、一生懸命に我身を生かす心構えを養うべきである」

（住民百世の安堵を計れ）

住宅用火災警報器について

大代地区婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

日頃より当クラブに深いご理解とご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、過日より皆様のもとに各ニュースソースを通して本年六月一日よりの警報器設置義務についてお知らせして参りました。

当クラブでも五月に最後の普及活動を行うことになりました。詳細は四月末回覧板にてお知らせ致します。この機会に未設置の方、お気軽に近くのクラブ役員

に声をかけて下さい。決して悪質訪問販売にはあいませんようにお気をつけて下さい。今後ともよろしくご協力の程お願い申し上げます。

大代第一百寿会総会に参加して

大代東 佐藤 洋子

去る四月十一日、第一百寿会の平成二十年度の総会がありました。会長が体調をくずし欠席のため、副会長の佐藤秀一氏の挨拶から始まり、十九年度の決算報告、二十年度の事業計画が提示され、承認を得る事が出来ました。

役員改選でもほとんどの方が留任され新役員も六名ほど選出されました。

役員の方々は、大変な業務でこれからの一年間会員のために、頑張って、会を盛り上げて頂きたいと思えます。今年も外で運動するには、とても良い季節になりました。第一百寿会では、毎週月曜グラウンドゴルフをしています。入会になりますと、まず、足腰を鍛えてないと、外でも運動は無理だと思いがちですが、まずは、緑地公園に足を運んで来てみてはいかがでしょう。みんなの楽しそうな笑顔にふれ、声を出す事によって仲間づくりと健康を維持する事ができると思います。主な年間行事の中には春の研修旅行や、体育大会、市老連演芸大会、秋

の研修旅行等があります。百寿会は行政区の助成金と各自負担金で運営されており、奉仕の精神と仲間づくりのために利用させて頂きながらこれからの活動に参加していきたいと思えます。

私も今年で二年目ですが同世代との交流をグラウンドゴルフを通して楽しんでおります。

大代の歩み (三)

大代南 渡邊 巖

●村の周囲

現在の代地区の大部分と笠神地区の一部に、塩釜市に編入された牛生・芦畔地区を含み、南は湊浜に接する鶴野から、西は笠神村との境になる銭神・小沢に至るまで十五町(約一三六五メートル)の範囲にある村である。(鶴野IIうずらの)

●地勢と自然

村には石ヶ森(高さ三五間II約六三メートル)と来宝壇山(高さ四八間II約八六メートル)という二つの山があった。

石ヶ森は、大代村の中峰と松ヶ浜の境(現在の代四丁目)にあり、戦前は採石場があったが、戦後宅地化されて大きく変わり、山の高さも昔の半分になった。来宝壇山は笠神村の境界、小沢地内(現

在の自衛隊駐屯地内)に在った山で、そこには法印墓と呼ばれた来宝修験者の檀家の墓地があり、戦前から採石場であったが、海軍工廠の建設で墓地は現在の場所へ移転し、山そのものも工廠用地の採石で消滅してしまった。

鶴野は高原の南にあり五代藩主吉村が野とならば鶴となりて鳴きつらん

どどみヶ原の音ぞゆかしき

と詠んだといわれる鼓ヶ原がある。ここに踏むと鼓のような音がする所があつてこう呼ばれたという(つづみの誤り)。この原には享保年間(一七一六〜三五年頃)藩主の吉村(獅山)が鶴を放つて飼育し、春秋には狩猟をしていた。この辺は現在、公共下水道や仙台港隣接石油基地となつて、往時を偲ぶ縁は無い。

村を通る公道は、石ヶ森を経て松ヶ浜へ通ずる道、笠神を通つて塩釜への道、高原を通つて湊村に至る三筋であつた。

続く

ある教授との出会い

多賀城東小学校長 小池 秀一

大学に入学して、無類の酒好きの教授の下で学んだ。研究室主催の歓迎会は壮絶なものであつた。まずは、お猪口で、次に小鉢、最後は井での乾杯。しかも一

気飲み。家に帰ってから、生まれて初めて天井が回るといふ経験を味わつた。

「きもだめし」というのもあつた。これは、じゃんけんで負けた者が、指定された肴を食べるといふものである。メニューは、「からすみ」「牡蠣酢」「雀の姿焼き」「ほや」「いもりの黒焼き」……。今ではなんでもない食べ物ではあるが、当時の私にとっては、見たことも食べたこともないものばかり。どうしてこんなものをと思ひながら顔をしかめて食べていると、教授が一喝!

「こいげ(こいけ)、これぐれえ食べねどだめだど!」

それ以来「いもりの黒焼き」以外は何とか食べられるようになった。

教授はお亡くなりになつたが、「ほや」をつまみに酒を飲むたびに、教授と一緒に発掘したことや、酒を酌み交わしたことが懐かしく思い出される。本当にすばらしい出会いだったと。

さて、今までたくさんの子ども達と出会ってきた。どれも良い出会いであつたと私は勝手に思っているが、子ども達は一切どう思っていることやら。

不平や不満は

大代東 本郷 新治

人間である、だれしも個人的な希望や欲が満たされないうちに不平不満を感じるので。そこで、仕事に関係して起きる不平不満を考えてみましょう。不愉快な環境、気の合わない同僚、不平等な仕事上の負担、昇給昇進の不満、能力のない上役など、いろいろな原因がある。そして、このような事実にたいする不平不満は、仕事の上で言葉や態度になつてあらわれてきます。それでは、大なり小なり、だれでももっている不平不満はどう解決すればよいか。自分自身で不平不満を解決するには、まず、その原因を探し出し、それを分析する。その結果、それを取り除く行動にでる。椅子の具合が悪いとか、照明の具合が悪いなどなら、比較的簡単ですが、対人関係とか給与や昇進などは自分自身で解決する事は難しい。このような不平不満は上役に相談するとか、今度社内にもうけた苦情処理機関や提案制度を大いに利用してもらいたいものです。また、管理者の立場にある上役は、仕事上の上司であるばかりではなく、部下のよりよき相談相手として、部下のもっている不平不満を早く解決して、組織の中に早くとけ込むための労をとらねばなら

ない。部下の上司にたいする依存心は案外と強いことを忘れてはならない。つきに不平不満が、会社の教育方法や安全設備が悪いなどに原因があれば、上役に相談したり解決機関を利用することによって、会社にもプラスになるようにしてほしいと思います。

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

花を見てつまらぬ物を買ひにけり

花冷し戻りぬ暗き家の灯に

咲き誇り散る宿命の桜かな

廣い海背負つて浅蜷あせな獲く漢

青き踏む初の一步はそつと出し

笠神西 本郷 勝子

残雪の月山仰ぎて日本海

暮れなずむさくらのトンネル風の渦

さくら追かけて北国へ北国へ

咲くさくら散るさくらの天守閣

青空に触るる枝あり花満開

笠神西 吉野 珠子

水ぬるむクレソンゆれし山の湖

紅梅やまるで舞踊の枝垂かな

雨の夜や白木蓮の花明り

散りぎわもそれもすてきな花日和

春の水みなもが光り大海へ

ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

花匂ふ貞山運河に糸垂るる

帰還の兵士 何か嘆かむ

故郷のまつほの浦に見し月を

今日松島に仰ぎ見るかな

大代地区公民館から

職員の交代について

四月一日から、前任者横瀬紳一に代わりまして小湊忠が勤務することになりました。勤務に就いてから、まだ日が浅いため、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、大代地区の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

また、手品を特技としていますので、機会があればご披露したいと思っております。

講座の追加募集について

大代地区公民館主催講座のペン習字教室とフラワーでサイン講座の定員に若干の余裕がございますので、追加募集致します。ご希望の方は大代地区公民館にて受け付けております。